

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）



2023年2月10日

東

上場会社名 中央ビルト工業株式会社

上場取引所

コード番号 1971

URL <http://www.chuo-build.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 齋藤 健

問合せ先責任者（役職名） 取締役経営統括本部長（氏名） 松澤 範生 (TEL) 03-3661-9631

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 2023年2月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2023年3月期第3四半期の業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

## （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,942	13.9	24	△82.1	13	△92.5	5	△96.7
2022年3月期第3四半期	6,093	△1.6	136	—	186	—	170	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2023年3月期第3四半期	2.43	—	—	—				
2022年3月期第3四半期	72.53	—	—	—				

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	8,809	2,637	29.9
2022年3月期	8,525	2,650	31.1

（参考）自己資本 2023年3月期第3四半期 2,637百万円 2022年3月期 2,650百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00	—
2023年3月期	—	0.00	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,004	△1.2	132	△14.6	112	△44.1	79	△58.9	33.59	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期3Q	2,378,740株	2022年3月期	2,378,740株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	27,607株	2022年3月期	27,446株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	2,351,208株	2022年3月期3Q	2,351,408株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」を参照。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、ウクライナ情勢による資源・エネルギー価格の上昇や、急速に進行した円安、中国におけるゼロコロナ政策による都市封鎖等の影響から、景気の先行きは不透明な状況となっています。

当社の主な関連業界である建設及び住宅業界においては、公共投資は堅調に推移し、民間投資は首都圏の再開発や物流施設案件などによって需要動向は緩やかな右肩上がりとなっておりますが、建設コストの上昇もあり採算性が低下している状態にあります。

このような状況の中、当社の仮設部門もその影響を受け、これまで以上に値下げ圧力・受注競争が激しくなっております。一方、住宅鉄骨部門の製造は、資材や供給エネルギーの高騰はあるものの堅調に推移しました。当第3四半期累計期間の業績は、売上高6,942百万円（前年同四半期比13.9%増）と増収となりました。一方、損益面においては、営業利益24百万円（前年同四半期比82.1%減）、経常利益13百万円（前年同四半期比92.5%減）、四半期純利益5百万円（前年同四半期比96.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (仮設機材事業)

社会インフラ整備等による建設需要は持続しているものの、鋼材の高騰やエネルギー価格の上昇等により需要家の購買意欲は低調のままで、また価格競争も一層激化しており、売上高は2,000百万円（前年同四半期比1.2%増）と増収となりました。セグメント損失は104百万円（前年同四半期はセグメント損失72百万円）となりました。

#### (住宅鉄骨事業)

住宅鉄骨用部材の好調な需要に支えられ、売上高は4,941百万円（前年同四半期比20.1%増）と増収となりました。一方、損益面では、セグメント利益137百万円（前年同四半期比37.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期末の総資産は8,809百万円となり、前事業年度末に比べ284百万円増加しました。流動資産が4,248百万円（前事業年度末比305百万円増）、固定資産は4,560百万円（前事業年度末比21百万円減）となりました。総資産の主な増加要因は、受取手形及び売掛金が213百万円、棚卸資産が436百万円増加したことなどによるものであります。

#### (負債)

負債合計は6,171百万円となり、前事業年度末に比べ297百万円増加しました。流動負債が3,918百万円（前事業年度末比173百万円増）、固定負債が2,253百万円（前事業年度末比124百万円増）となりました。負債の主な増加要因は、短期借入金が300百万円減少した一方、買掛金が219百万円、支払手形が229百万円増加したことなどによるものであります。

#### (純資産)

純資産合計は利益剰余金が13百万円減少したことなどにより2,637百万円（前事業年度末比13百万円減）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月20日の決算短信で公表しました予想に変更はありません。今後、業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,466,207	1,115,150
受取手形及び売掛金	1,432,998	1,646,932
棚卸資産	1,015,538	1,452,048
前払費用	14,089	16,154
未収入金	11,340	15,648
その他	3,987	4,165
貸倒引当金	△1,289	△1,482
流動資産合計	3,942,873	4,248,617
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,973,183	1,979,718
減価償却累計額	△1,655,435	△1,675,610
建物(純額)	317,747	304,108
構築物	736,072	747,572
減価償却累計額	△517,341	△537,765
構築物(純額)	218,731	209,806
機械及び装置	790,860	797,640
減価償却累計額	△698,601	△712,661
機械及び装置(純額)	92,259	84,978
貸与資産	6,969,914	6,944,410
減価償却累計額	△6,503,962	△6,476,464
貸与資産(純額)	465,952	467,946
車両運搬具	62,383	62,513
減価償却累計額	△54,166	△56,521
車両運搬具(純額)	8,216	5,992
工具、器具及び備品	258,556	270,005
減価償却累計額	△228,946	△233,663
工具、器具及び備品(純額)	29,609	36,342
土地	3,070,361	3,070,361
リース資産	96,152	96,152
減価償却累計額	△40,752	△50,649
リース資産(純額)	55,399	45,502
建設仮勘定	—	23,760
有形固定資産合計	4,258,278	4,248,798
無形固定資産	76,625	64,399
投資その他の資産		
投資有価証券	200	200
繰延税金資産	35,048	35,048
差入保証金	209,460	209,285
その他	2,916	3,096
投資その他の資産合計	247,625	247,630
固定資産合計	4,582,530	4,560,829
資産合計	8,525,403	8,809,446

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	531,426	760,936
買掛金	888,444	1,107,982
短期借入金	1,600,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	397,424	544,096
未払法人税等	32,903	—
賞与引当金	19,303	—
役員賞与引当金	9,826	—
その他	266,044	205,591
流動負債合計	3,745,371	3,918,606
固定負債		
長期借入金	1,902,306	2,027,566
退職給付引当金	134,464	146,151
長期未払金	1,098	—
その他	91,360	79,520
固定負債合計	2,129,229	2,253,237
負債合計	5,874,601	6,171,844
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	508,000	508,000
資本剰余金	758,543	758,543
利益剰余金	1,412,073	1,398,965
自己株式	△27,814	△27,906
株主資本合計	2,650,802	2,637,602
純資産合計	2,650,802	2,637,602
負債純資産合計	8,525,403	8,809,446

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	6,093,407	6,942,046
売上原価	5,419,450	6,381,615
売上総利益	673,957	560,431
販売費及び一般管理費	537,443	536,017
営業利益	136,513	24,413
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	3
保険解約返戻金	56,083	—
受取地代家賃	4,099	2,329
雑収入	2,735	1,610
営業外収益合計	62,921	3,942
営業外費用		
支払利息	11,823	13,984
雑支出	1,184	398
営業外費用合計	13,007	14,382
経常利益	186,426	13,973
税引前四半期純利益	186,426	13,973
法人税、住民税及び事業税	15,871	8,271
法人税等合計	15,871	8,271
四半期純利益	170,555	5,702

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。